

# 伝統の太鼓 力強く

## 鶴尾小児童、量販店で演奏



元気よく太鼓を演奏する児童たち—高松市三条町

高松市松並町の鶴尾小学校（田中義人校長）の児童が19日、同市三条町のゆめタウン高松で同校伝統の「鶴尾太鼓」の演奏を披露した。児童たちは元気よく太鼓を打ち鳴らし、力強い音色を響かせた。

同校では、毎年6年生が

総合的な学習の一環で太鼓を練習し、市主催の行事や地域のイベントなどで演奏している。同店での演奏は、新型コロナウイルスの影響で行事の中止が相次いだことから、児童たちが校外での成果発表の場を求めて一昨年、協力を要請したのが

きっかけ。以後、毎年公演を行っている。

この日は同店の中央入り口横を会場に、6年生18人が13年前に同校OBが作曲した「和」を演奏した。大勢の観客を前に、児童たちは少し緊張した面持ちながらも、息を合わせて力強い「ばちさばき」を披露。詰めかけた保護者や地域住民らから大きな拍手が送られた。

杉本尚之君（11）は「一音一音、みんなが元気になってほしいという思いを込めた」と語り、野崎真由さん（11）は「練習の成果を出せた。鶴尾太鼓の伝統と魅力が多くの人に伝われば」と話していた。